

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

**事業名** 消防団活動及び事務のDX化

**自治体名**

山口市

**消防団名**

山口市消防団

## 1 事業の目的

消防団専用アプリを導入し、災害時の招集状況の把握・災害情報をアプリ内で共有することにより消防活動全般の効率化を進めるとともに、各種報告・連絡事項をアプリで送信することで、消防団員・消防職員双方の事務負担軽減及びペーパーレス化を図ります。

## 2 事業内容

### 【消防団専用アプリの導入】

消防団員による消防団専用アプリのインストールと操作に慣れるためのトレーニングを経て、令和6年1月から消防団専用アプリの本格運用を開始しました。

### 【DX担当者の選任】

分団内での消防団専用アプリの普及体制を確立するため、各分団でDXに対応可能な団員を選出させ、事務局から方面隊単位の説明会への出席、DX担当者からの各分団への説明を行いました。

### 【説明会】

誰一人取り残さずにDX化を進めていくため、分団長及び各分団のDX担当者が参加する説明会を実施。4月～12月の約9ヶ月を準備期間とし、方面隊ごとの説明会を各2回計10回、希望があれば分団ごとの説明会を実施し、団員を取り残さないスピード感で準備を進めました。

### 【各種通知のペーパーレス化】

アプリの参考連絡機能を使用し、訓練の案内や出動報告書のペーパーレス化を図りました。参考連絡機能による連絡回数は125回で、14,525枚の印刷用紙の削減と、郵送費の削減を行いました。

## 3 事業成果

消防団専用アプリを導入し、2回実施した説明会ではアプリのインストールから丁寧な説明をこころがけ、各種会議による報告・連絡調整、団員の声を拾うアンケート、実際の運用に備えた出動通知及び出動報告のテストを行い、万全の準備の中運用を開始しました。

団員からは出動通知の可否の確認が迅速になった、分団内で全員が情報共有できるようになった等の意見もいただき、アンケートでは約4分の3の団員が以前に比べ便利になったとポジティブな回答が多数を占めるなど、災害対応に必須の情報共有・伝達能力が向上したと考えています。

また、出動報告書についても不具合なく報告が出来たとの意見が大半を占め、団員の負担軽減に繋がるとともに、アプリでの通知に移行したことによるペーパーレス化にも大きな効果が出ています。

## 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	5回	10回	
参加者	人数	66人	112人	
検討会・打合せ	回数	4回	7回	

## 5 その他参考情報

